

# 平成30年度 第1回人事委員会 会議結果

一 日 時 平成30年4月19日(木) 午前9時40分から10時25分まで

二 場 所 人事委員会委員室(県庁第二庁舎7階)

## 三 出席者

- 1 人事委員 委員長 上田博久  
委員 中原都  
委員 小松哲也
- 2 事務局職員 事務局長 今岡誠一 次長兼任用課長 山添久  
給与課長 吉野一朗 係長 毎野卓実  
係長 湯ノ口修 係長 足立陽子  
係長 高多孝典
- 3 傍聴者 なし

## 四 議 題

- 議案第1号 平成30年度鳥取県職員採用試験(大学卒業程度)の実施について  
議案第2号 平成30年度鳥取県職員採用試験(民間企業等経験者対象)の実施について  
議案第3号 平成30年職種別民間給与実態調査の実施について

## 五 議 事

議事について公開又は非公開のどちらとするかについて審議を行い、議案第1号及び第2号は公開、議案第3号は非公開とすることについて全員の合意を得た。

### ◇議案第1号及び第2号

鳥取県職員採用試験(大学卒業程度)の実施及び鳥取県職員採用試験(民間企業等経験者対象)の実施について、事務局が一括して説明し、原案のとおり決定した。

#### 【説 明】

- 議案第1号 平成30年度鳥取県職員採用試験(大学卒業程度)の実施について  
平成31年4月1日採用予定の標記の採用試験を、次のとおり実施しようとするもの

### 1 概要

#### (1) 募集職種・採用予定者数

	職 種	採用予定者数
事 務	一般コース	17名程度
	環境コース	1名程度
	総合分野コース	10名程度
	キャリア総合コース	10名程度
社会福祉	福祉コース	2名程度
	手話コース	1名程度
総合化学	食品化学コース	1名程度
薬 剤 師	公衆衛生コース	1名程度
	保 健 師	2名程度

農 業	5名程度
林 業	3名程度
土 木	6名程度
獣 医 師	5名程度
畜 産	1名程度
建 築	1名程度
警 察 行 政	1名程度
計	67名程度

(2) 受験資格

ア 年齢等

薬剤師（公衆衛生コース）及び保健師：昭和58年4月2日以降に生まれた人

獣医師：昭和43年4月2日以降に生まれた人

その他の職種：① 昭和58年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた人

② 平成9年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した人若しくは平成31年3月31日までに卒業する見込みの人又は鳥取県人事委員会がこれらと同等の資格があると認める人

※ ②に該当する人は、9月23日（日）に実施予定の高校卒業程度試験は受験不可。

イ 資格・免許等

社会福祉、総合化学（食品化学コース）、薬剤師、保健師及び獣医師には、職種に係る資格・免許等が必要。

ウ 国籍

日本国籍を有しない人にあつては、就職に制限のない在留資格を取得しているか、平成31年3月31日までに取得見込みであれば受験可能。ただし、警察行政は日本国籍が必要。

(3) 試験内容

ア 事務（総合分野コース）、事務（キャリア総合コース）及び警察行政以外

試験種目	配点		内 容
第1次試験	教養試験	150点	[多肢選択式・・・50問 2時間30分] 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	(事務)	一般コース [多肢選択式・・・40問 2時間] 必要な専門的知識についての筆記試験
			環境コース [多肢選択式 20問及び記述式 5問 2時間] 必要な専門的知識についての筆記試験
		(事務以外の職種) 300点	[多肢選択式・・・40問 2時間] 必要な専門的知識についての筆記試験
	論文試験	120点	[1問 1時間] 公務員として必要な識見、思考力、表現力などの能力についての筆記試験
適性検査	—	職務遂行に関する適性についての検査	
次試	人物試験	(事務) 600点	集団討論及び個別面接による人物についての口述試験

	(事務以外の職種) 600点	集団討論及び個別面接による人物、専門的知識についての口述試験
--	-------------------	--------------------------------

イ 事務（総合分野コース）

試験種目	配点	内 容
第1次試験	教養試験	100点 [多肢選択式・・・50問 2時間30分] 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての筆記試験
	エントリーシート	100点 [2時間] ①志望理由、②取り組んでみたい仕事、③自己PR、 ④チャレンジした経験の4つのテーマで出題 ※事前提出ではなく、第1次試験当日に試験会場で記入。
	論文試験	120点 [1問 1時間] 公務員として必要な識見、思考力、表現力などの能力についての筆記試験
	適性検査	— 職務遂行に関する適性についての検査
第2次試験	人物試験	600点 集団討論及び個別面接による人物についての口述試験

(注) 第1次試験で実施する論文試験の評価は第2次試験で行う。(第1次試験合格者のみ採点。)  
また、第1次試験で実施する適性検査の検査結果は、第2次試験の人物試験の参考として使用する。(第1次試験合格者のみ判定。)

なお、エントリーシートは、第2次試験の人物試験の参考資料としても使用する。

ウ 事務（キャリア総合コース）

試験種目	内 容
第1次試験	基礎能力試験 [多肢選択式・・・70分] 職務に共通して求められる基礎的な能力についての筆記試験(S P I 3(基礎能力のみ))
	アピールシート [2時間] ①志望理由、②チャレンジした経験、③経験等の県政への活用、の3つのテーマで出題 ※事前提出ではなく、第1次試験当日に試験会場で記入。
	適性検査 職務遂行に関する適性についての検査
第2次試験	人物試験 集団討論及び個別面接による人物についての口述試験

(注) 配点は第1次試験100点、第2次試験600点。  
また、第1次試験で実施する適性検査の検査結果は、第2次試験の人物試験の参考として使用する。(第1次試験合格者のみ判定。)

なお、アピールシートは、第2次試験の人物試験の参考資料としても使用する。

エ 警察行政

試験種目		配点	内 容
第1次試験	教養試験	150点	[多肢選択式・・・50問 2時間30分] 公務員として必要な一般的な知識及び知能についての筆記試験
	専門試験	160点	[多肢選択式・・・40問 2時間] 必要な専門的知識についての筆記試験
	適性検査	—	職務遂行に関する適性についての検査
第2次試験	人物試験	500点	個別面接による人物についての口述試験
	論文試験	200点	[1問 1時間30分] 公務員として必要な識見、思考力、表現力などの能力についての筆記試験
	身体検査	—	職務遂行に必要な健康度の調査

※ 警察行政の第2次試験は、警察本部に委任して実施。

(注) 第1次試験で実施する適性検査の検査結果は、第2次試験の人物試験の参考及び採用候補者の決定に使用する。(第1次試験合格者のみ判定。)

(4) 試験日程

受付期間		5月2日(水)～5月21日(月)(消印有効) (インターネット受付:5月2日(水)午前9時～5月21日(月)午後5時)
第1次試験	試験日	6月24日(日)
	試験会場	鳥取会場:鳥取大学共通教育棟 米子会場:鳥取大学医学部講義・実習棟 東京会場:立教大学池袋キャンパス5号館 大阪会場:関西大学千里山キャンパス第2学舎2号館
	合格者発表	7月5日(木)(予定)
第2次試験	試験日	警察行政以外 7月下旬～8月上旬のうち指定する1日(予定) 警察行政 8月7日(火)(予定)
	試験会場	警察行政以外 鳥取県庁第二庁舎会議室 警察行政 鳥取県警察本部庁舎会議室
	採用候補者発表	警察行政以外 8月中旬(予定) 警察行政 9月4日(火)(予定)

2 広報

平成30年4月24日付けの鳥取県公報に登載し、別途受験案内を作成する。

○議案第2号 平成30年度鳥取県職員採用試験（民間企業等経験者対象）の実施について  
平成31年4月1日採用予定の標記の試験を、次のとおり実施しようとするもの。

## 1 試験の概要

### (1) 試験の目的

公務部門に民間等の知識・経験を導入し、新たな業務増や政策課題等に対応するとともに、組織・人事の活性化を図る。

### (2) 募集職種・採用予定者数

職 種		採用予定者数
事務	とっとりブランド情報発信・広報コース	1名程度
	エキスパートコース	5名程度
	一般コース	3名程度

### (3) 受験資格

#### ア 年齢

昭和34年4月2日以降に生まれた人であること。

#### イ 資格・職務経験等

##### (ア) 事務（とっとりブランド情報発信・広報コース）

報道機関、広告代理店をはじめ民間企業等（公的団体を含む。）の情報発信・広報部門等において、情報発信、報道、広報、ブランドイメージの創出・企画・展開に関する職務経験を通算して5年以上有している人

- ① 「職務経験」は、平成20年4月1日から平成30年4月30日までの間に、社員等として1つの民間企業等（公的団体を含む。）に1年以上継続して就業（1週間の労働時間数が通常の労働者の所定労働時間数のおおむね3/4以上の就業）した期間が該当します。
- ② 1年以上継続した職務経験が複数ある場合は、それらを通算することができますが、個々の継続した職務経験が1年未満の場合は通算できません。  
ただし、雇用期間が1年未満の場合であっても、継続して就業した後に雇用契約が更新され、引き続き同一の民間企業等（公的団体を含む。）に継続して就業した場合であって、更新前後の就業期間を通算して1年以上となる場合は、その期間は「1年以上継続して就業した期間」として取り扱います。
- ③ 上記のいずれにおいても、期間を通算する計算は月単位で行い、月の途中で就職又は退職した場合は、その月は全て就業していたものとみなします。

##### (イ) 事務（エキスパートコース）

鳥取県の主要施策の推進に有用な職務経験を通算して5年以上有している人

- ① 「職務経験」は、平成20年4月1日から平成30年4月30日までの間に、社員等として1つの民間企業等（公的団体を含む。）に1年以上継続して就業（1週間の労働時間数が通常の労働者の所定労働時間数のおおむね3/4以上の就業）した期間が該当します。
- ② 1年以上継続した職務経験が複数ある場合は、同じ主要施策の推進に有用な場合に限りそれらを通算することができますが、個々の継続した職務経験が1年未満の場合は通算できません。  
ただし、雇用期間が1年未満の場合であっても、継続して就業した後に雇用契約が更

新され、引き続き同一の民間企業等（公的団体を含む。）に継続して就業した場合であって、更新前後の就業期間を通算して1年以上となる場合は、その期間は「1年以上継続して就業した期間」として取り扱います。

- ③ 上記のいずれにおいても、期間を通算する計算は月単位で行い、月の途中で就職又は退職した場合は、その月は全て就業していたものとみなします。

(ウ) 事務（一般コース）

民間企業等（公的団体を含む。）における職務経験を通算して5年以上有している人

- ① 「民間企業等（公的団体を含む。）における職務経験」は、平成20年4月1日から平成30年4月30日までの間に、社員等として1つの民間企業等に1年以上継続して就業（1週間の労働時間数が通常の労働者の所定労働時間数のおおむね3/4以上の就業）した期間が該当し、職務内容は問いません。

- ② 1年以上継続した職務経験が複数ある場合は、それらを通算することができますが、個々の継続した職務経験が1年未満の場合は通算できません。

ただし、雇用期間が1年未満の場合であっても、継続して就業した後に雇用契約が更新され、引き続き同一の民間企業等（公的団体を含む。）に継続して就業した場合であって、更新前後の就業期間を通算して1年以上となる場合は、その期間は「1年以上継続して就業した期間」として取り扱います。

- ③ 上記のいずれにおいても、期間を通算する計算は月単位で行い、月の途中で就職又は退職した場合は、その月は全て就業していたものとみなします。

ウ 国籍要件

日本国籍を有しない人は、就職に制限のない在留資格を取得しているか、平成31年3月31日までに取得見込みであること。

(4) 試験内容

ア 事務（とっとりブランド情報発信・広報コース）、事務（エキスパートコース）

試験種目		内容
第1次試験	基礎能力試験	[多肢選択式・・・70分] 職務に共通して求められる基礎的な能力についての筆記試験 (SPI3 (基礎能力のみ))
	アピールシート	[2時間] ①経験・技能、成果等、②経験等の県政への活用 の2つのテーマで出題。 ※事前提出ではなく、第1次試験当日に試験会場で記入。
	適性検査	職務遂行等に関する適性についての検査
第2次試験	人物試験	個別面接による人物についての口述試験 民間企業等における経験の有用性等についての口述試験

(注) 配点は第1次試験100点、第2次試験600点。

第1次試験で実施する適性検査の検査結果は、第2次試験の人物試験の参考として使用する。(第1次試験合格者のみ判定。)

なお、アピールシートは、第2次試験の人物試験の参考資料としても使用する。

イ 事務（一般コース）

試験種目		配点	内 容
第1次試験	基礎能力試験	100点	[多肢選択式…70問 45分] 公務員として必要な一般的な文章読解、数的処理等の基礎能力についての筆記試験
	エントリーシート	100点	[2時間] ①志望理由、②取り組んでみたい仕事、③自己PR、④チャレンジした経験 の4つのテーマで出題 ※事前提出ではなく、第1次試験当日に試験会場で記入。
	論文試験	120点	[1問 1時間] 公務員として必要な識見、思考力、表現力などの能力についての筆記試験
	適性検査	—	職務遂行等に関する適性についての検査
試験第2次	人物試験	600点	個別面接による人物についての口述試験 民間企業等における経験の有用性等についての口述試験

(注) 第1次試験で実施する論文試験の評価は第2次試験で行う。(第1次試験合格者のみ採点。)

また、第1次試験で実施する適性検査の検査結果は、第2次試験の人物試験の参考として使用する。(第1次試験合格者のみ判定。)

なお、エントリーシートは、第2次試験の人物試験の参考資料としても使用する。

(5) 試験日程

受付期間		5月2日(水)～5月21日(月) (消印有効) (インターネット受付 5月2日(水)午前9時～5月21日(月)午後5時)
第1次試験	試験日	6月24日(日)
	試験会場	鳥取会場：鳥取大学共通教育棟 米子会場：鳥取大学医学部講義・実習棟 東京会場：立教大学池袋キャンパス5号館 大阪会場：関西大学千里山キャンパス第2学舎2号館
	合格者発表	7月5日(木) (予定)
試験第2次	試験日	7月20日(金)～22日(日) (予定)
	試験会場	鳥取県庁第2庁舎会議室
	採用候補者発表	8月中旬(予定)

2 広報

別途受験案内を作成し、県の機関等で配布するほか、その内容をホームページ等で公表する。  
また、転職サイト及び新聞へ求人情報を掲載する。

## 【質 疑】

- 委 員：67名で採用予定者数は増えているがこの情勢なので足りなくなることもあるかもしれない。
- 事 務 局：自己都合で退職される方などがあるため採用予定者数の修正はある。
- 委 員：手話コースの要件を緩和したということだが、保健師も含めて大丈夫か。
- 事 務 局：保健師は昨年度募集がなかったものであり、一昨年度は2次試験に採用予定者数の2倍が残る程度の応募があった。
- 委 員：それが採用できなかったということか。
- 事 務 局：辞退があったのでそれを引きずっているかもしれない。
- 事 務 局：昨年度募集がなかったということはある程度組織としては充足していると思われるが、年齢構成、職員の経験等を考慮して募集をされているものと思われる。
- 委 員：とっとりブランド情報発信・広報コースが1名募集とあるが、試験で経験や県政への活用を書かせるのは分かるが、本人の意向によってアクションプランを組んでもらえるのか。採用するだけにならないように、全部実現できないかもしれないが、個人としてのアクションプランを組んでやる気を起こさせることも環境整備だと思う。貴重な人材なので入ってからコースの趣旨と異なる部署に配属されたら何にもならない。入ってからのきちんとした環境整備をぜひお願いしたい。
- 事 務 局：任命権者に伝えたい。
- 委 員：大卒のキャリア総合コースと民間の一般コースは試験種目が違うので求める人物像が異なる意図は分かるが、受験者はどうやって選ぶのか。
- 委 員：ネーミングが誤解を招くのではないか。キャリア総合といえば仕事をして試験を受ける転職という形にとられてしまうのではないか。その辺をきちんと説明しないとイケない。
- 委 員：いままでの民間の受験者は民間経験の中で自身が培ってきたものを武器に受験してこられているので、そういう意味でどこが違うのか受験者は分かるのか心配。
- 委 員：チャレンジコースでいいような気もする。
- 委 員：説明を工夫した方がよい。
- 委 員：エキスパートコースはなんとなく趣旨は秀でた能力を求めるといのは分かるが、正直、大卒のキャリア総合コースと民間の一般コースは少し考えてしまう。
- 委 員：論文試験をやめたりコースを変えたりして受けやすくしている。
- 委 員：そうなると面接が難しい。
- 委 員：面接で質問することでこちらも学ばせてもらっている。
- 事 務 局：エキスパートコースでは例示をするとあまりそれ以外の募集がないということだったが、逆に何も例示がないとどういった経験で応募したらいいか分からないのではないか。いろいろ試すのはいいと思うが。
- 事 務 局：主要施策をどうとらえて、どう表現するかもその人の経験・能力というように今のところは考えている。具体性があった方が募集資格があるかという疑念を払拭しやすいと思うが、例示することのメリットデメリットがあるのでこの度はこの形でいきたいと考えている。

## ◇議案第3号

平成30年職種別民間給与実態調査の実施について、事務局が説明し、原案のとおり決定した。

## 六 次回人事委員会の開催

平成30年5月10日（木）午前9時40分から開催することとした。